

# 卒業生の本紹介



## 一サラの戯言 サラリーマンの書いた 日本人論

中川 穎太郎 著

人間は多分に環境に左右される動物であることはよく言われている。アメリカ系外資企業の本NCRC株

式会社で、サラリーマン生活の二十八年九月を過ごした著者は、そこで日本人の発想とアメリカ人の発想

がしばしば違うことを体験する。なぜそのようなのだろうかと自問すると、それぞれの底に流れる文化の相違を垣間見た気がした……。

二〇〇〇年四月に、サラリーマン生活三十年を全うし、年齢六十に近づいた一期生の著者が、第二期の人生設計をしながらはならない同世代へ贈る励ましの一冊。

文芸社 刊  
一五〇〇円(税別)

## 横顔のウィーン 音楽と小さな旅

河野純一 著



現在、横浜国立大学教授とし、教壇に立っている三期生の河野純一氏は、オーストリアのウィーン大学で客員教授を二年間つとめた経験をもつ。

すでにこれまでも「ウィーン知られざる世紀末」「ウィーン路地裏の風景」「ウィーン音楽の四季」といった本を著しているが、「横顔のウィーン」は氏にとつて四冊目の著作となる。

ウィーンに興味を持つようになったのは、ウィーン大学で教えるために、実際に現地に暮らし、ウィーンの人々の生活やものの考え方や身近に接してからだつたということだ。

ウィーンやオーストリアの歴史についての本は多いが、本書ではそうしたものにふつう登場しないような、一般市民の生活や彼らの関心事であった事件や出来事などが、数多く書かれている。

例えば、ウィーン菓子の甘さから、砂糖がかつては貴重品で権威の象徴であり、その後二十世紀初めは最も安価なカロリー源になっていく。また、十九世紀末に富裕層で流行した自転車と、女性のスカートの長さには重大な関連があり、それが女性解放運動と密接に結びついていくといった、大部の歴史書にもない意外な歴史の一面も描き出して見せる。

音楽の都ウィーンという都市のさまざまな表情、外向きの顔立ちと内向きの容姿には苦勞しています。卒業後、私自身上下の交流は全く無いのですが、是非多くの先輩・後輩からの連絡があればと期待しています。

今後、独立を目指す方、既に独立されている方との情報交換も歓迎です。

### シリーズ

# 卒業生のお店紹介

## 第11回

### スリーエス・ワールドワイド(株)

#### 余剰在庫売買業

16期生 塩崎 正則氏経営

当社はブランド・流通ルートを手を大切に保有する大手有名消費財メーカーの余剰在庫を買い取り、金融機関・カーディーラー・ゲームセンター・パチンコ等の景品として、流通させる「余剰在庫売買業」を行っています。

余剰在庫と言っても、売行きが悪い余剰在庫ではなく、新商品発売に伴う、旧商品在庫などが取扱の中心です。

販売先は、資生堂・鐘紡・ロート製薬・サンスター等、玩具・文具・業界・ネスレ・明治製菓・ドール等菓子・飲料業界を中心に大手有名メーカー(約九十社)に絞って、

販先は、景品を商売によく使用する大手金融機関・自動車メーカー・新聞社・石油元売等の子会社、ゲームセンター・パチンコ・景品問屋中心に約百社。当社物流センターにメーカーより一括納品し、景品が必要な金融機関各支店等に「クレー

スから直送しているため、安売りに対する心配がありません。在庫ビジネスとの関わりは、出版社で新規事業担当課長(という名のプラプラ社員)在任中の平成五年の日経新聞で、米国の余剰在庫物々ビジネスの記事を見て以来です。

早速、米国の在庫業者各社を訪問し、七百社中最大手の日本法人を設立し、結局五年間勤務しました。退職後、自ら出資し会社を設立、別の最大手の日本総代理店として一人で当社はスタートしました。

悩みは営業マンの確保です。不況でいくらでも思いますが、優秀な人材の確保には苦勞しています。

卒業後、私自身上下の交流は全く無いのですが、是非多くの先輩・後輩からの連絡があればと期待しています。

今後、独立を目指す方、既に独立されている方との情報交換も歓迎です。

### スリーエス・ワールドワイド株式会社

代表取締役 塩崎正則

☎03-5532-1631~3

所在地：東京都港区虎ノ門

Shiozaki @ 3sw.co.jp

http://www.3sw.co.jp/



ポータルホールに集う  
8期生同窓会和やかに

平成十四年十一月二十三日、聖光学院二階食堂(ポータルホール)に於て八期生同窓会が行われた。



八期会は、卒業後二十六年目の平成九年に初めての同窓会が行われ、平成十二年までは毎年行われていた。今回から隔年の開催となり

形式は、立食パーティーでイスも充分にあり、今年で五十歳を迎える八期生には好評だった。参加者全員に配られた名簿や、板井氏が持ってきた当時の「イヤーブック」を見ながら、在校時の思い出、近況、出席できなかった同期生の話題など、あちこちに輪ができていた。

あつてか、昔のプールの話など、施設の話が目立っていた。

懇談後今回の幹事の代表・加藤健夫氏の挨拶があった。加藤氏は、今後の連絡の手段に電子メールを使うよう提案し、全員が賛同した。また、次回の幹事のメンバーの発表があり、会は七時三十分頃お開きとなった。

懇談する8期生

参加された3名の恩師



## ネットワーク社会の 深層構造

薄口の人間関係へ  
江下雅之 著

テクノロジーが個人の生活を一変させるという言葉は、すでに多くの人が強調しているが、ライフスタイルの変化が技術革新を促す側面もあることが見落とされがちだ。

本書は両要因が相互作用的な関係にあることに着目し、とりわけライフスタイルの社会生活史的变化が

今日のインターネット革命をいかに促したかを分析した。そのユニークな視点が認められ、電

気通信普及財団主宰の第十六回テレコム



刊(中公新書) 八四〇円(税別) 十五期生

「校友会名簿」発行並びにホームページに関するお知らせ

先にもお知らせした通り「校友会名簿(第6版)」を11月中に発行することになりました。販売価格は送料込みにて3000円を予定しています。

また、校友会では、ホームページをリニューアルしました。現在校友会から会員に対する連絡は、郵便を利用していますが、今後Eメールでも行いたいと考えています。

校友会からの連絡を、Eメールで希望される会員は、聖光学院中学校高等学校のホームページ

http://www.seik.ac.jp

購入ご希望の方に対しては名簿が出来上がりましたら、郵便振替用紙をお送りいたします。